

令和元年 11 月 定例教育委員会 会議録 要旨

1 日 時

令和元年 11 月 28 日（木）

開会 午前 9 時 30 分 閉会 午前 11 時 14 分

2 場 所

市役所西館 2-6 会議室

3 出席及び欠席委員

出席者 大野教育長 大庭委員 今村委員 荒牧委員 白木原委員 吉田委員

欠席者 飯盛委員

4 会議出席職員

江頭学校教育担当部長 高塚教育総務課長 松尾保育幼稚園課長 深町生涯学習課長 古庄文化課長 副島教育総務課副課長 松本教育総務課庶務係長

5 教育長の報告事項

- ・九州北部豪雨からちょうど 3 カ月が経過し、県内でも落ちついてきているが、日本各地ではまだ対応が必要な地域もあり、天候については今後も気を付けていかなければいけないと感じている。
- ・11 月は「小城市文化と教育に親しむ月間」という事で、多くの行事が開催され、小さな子どもからお年寄りまで、日々の様々な活動の披露と交流の場となり、11 月は元気につながるいい月であったと思う。
- ・一方で国内の事案や事件を見ると、青森では中学 2 年生が小学 6 年生に切り付けたり、大阪の小学 6 年生が行方不明になって栃木県で保護されたという事案であったり、教職員では高校の部活動での体罰、小学校の教員が強制わいせつ致傷容疑での逮捕される事案も発生している。こういった事案発生はどこにでも起こり得ることであると我々は認識しなければいけないと考えている。
- ・また、行方不明になった大阪の小学 6 年生も SNS というツールを使っていたということが大きな話題となっており、教育委員会としても、情報教育、情報モラルについては学校教育だけでは限界が来ている状況の中で、保護者がどういう認識を持ったのかということが気になる。どの子にも起こり得ることで、親子の関係性や思春期の問題など、関連性もあるので、依存などの SNS の問題に私も関心を寄せている。
- ・報道された内容であるが、久里浜医療センターが依存症を専門的に治療するための調査の中で、10 歳から 29 歳の若者で 3 割が一日のゲーム時間が 2 時間越えという結果が出ており、この 3 割という結果はかなり多いという印象を持った。中学生が 7 時に帰ってくるとして、それから 2 時間差し引くと残りの時間は何かをするか。ゲームや SNS に頼ったり依存したりすれば、大きく日常生活が変化し、心と体の健康を害するという事にもつながる。
- ・久里浜医療センターでは、依存症という事で調査をされていたが、一番の治療法は、ゲーム時間を減らし、SNS に頼らない生活が一番の治療法との事であった。親子での話し合いや、しっかりとした親子関係の構築など、人の話が聞ける関係性を確保しておかなければ反抗して家出したいという気持ちになって、そこに目を付ける大人も少なくないため、大きな問題としてこの件をとらえたところであった。

- ・ 11 月 1 日全体朝礼、同日佐賀県教育委員会東部教育事務所の三里小学校学校訪問。小規模校のいいところを生かした教育が進められているということや、ランチルームで子どもたちと一緒に食事を取りながら楽しい時間を過ごすことができ、語らいながら小城給食センターのおいしい給食を食べることができるというのは本当によい環境にあると感じた。
- ・ また、同日佐賀県教育委員会表彰及び佐賀県教育長表彰ということで、槇原校長先生、古賀校長先生が教育委員会表彰、石橋先生、橋本先生、平田先生、八島先生は教育長表彰を受けられ、頑張りが評価されたことに対し喜ばしく思う。
- ・ 2 日は三日月子ども文化まつり、3 日は芦刈公演会、4 日の牛津一般公演会とそれぞれのまちでの文化祭がおこなわれた。牛津一般公演会の前には小城市文化連盟表彰式があり、永年功労に 4 名、文化功労に 1 名表彰を受けられた。
- ・ 5 日課長副課長会議。
- ・ 6 日岩手県盛岡市長来庁。副市長、文化課長と共に対応した。昨年市長が明治維新 150 年の戊辰戦争に絡めて市長対談を行った縁での来庁であった。
- ・ 6 日から 9 日まで小城市の訪問団が中国の海鹽（かいえん）県を訪問した。教育委員会からは学校教育担当部長と岩松小学校長が参加した。
- ・ 7 日県民スポーツ大会結果の市長報告。小城市は 3 位であった。同日災害関連の小城市議会臨時会。
- ・ 同日三日月小学校の給食運営委員会が行われ、陳情書等も出る中、改めて給食運営委員会に市の給食の運営方針について説明を行った。今月 17 日には三日月小学校のフリー参観も開催され、その中でも学校給食運営方針と学校給食センター建設に伴う説明会を実施した。
- ・ 7 日は中林梧竹翁顕彰会より梧竹カレンダーの贈呈がなされた。
- ・ 8 日牛津中学校にて九州地区中学校国語研究大会。同日ひらまつ病院陸上部のニューイヤースタート出場報告が行われ、3 年連続 3 回目の出場となった。
- ・ 9 日小城芸能まつり。
- ・ 10 日第 39 回牛津産業まつり少年剣道大会。今年は災害があったが、それを乗り越える、活力あるまつりとなっている。同日三里、晴田、岩松小学校のフリー参観。
- ・ 12 日文部科学省所管会計実地検査。同日相原一郎基金東京研修の第 1 回研修会。研修会は今年度で終了予定。
- ・ 13 日教育委員会佐賀県連絡協議会。同日午後からは退職校長会の研修会。
- ・ 14 日知覧町の平和の出前講座。今年度は小城中学校で開催され、命のとうとさ、親への感謝、平和について話をされた。この時の話の中で、特攻志願兵が亡き妻、子どもに手紙を出す話があったが、志願の想いを知った奥さんが未練にならないようにと子と共に身を投げられたあと、戦死される前に志願兵が子に宛てた手紙を書かれたという話を聞いて、私も心を動かされ、また中学生もしんみりと話を聞いていた。事実についてはしっかりと受け継いで今後も伝えていかなくてはならないと思った。
- ・ 16 日全国国公立幼稚園こども園長会九州ブロック佐賀大会が三日月幼稚園で開催され、県内の 8 園 43 組の親子が参加し、ものづくりの活動を行う研修会であったが、講師からは見守る大切さの話をされ、よい研修であった。
- ・ 同日第 15 回小城市少年少女の声大会。今年も 12 名の小中学生がしっかりと話ができたといい事で、大変うれしく思っている。
- ・ 19 日砥川小学校の小城市教育委員会訪問。今年度最後の学校訪問となった。
- ・ 20 日部落差別解消法に基づく要請。部落解放同盟佐賀県連合会より天本執行委員長が来庁された。
- ・ 21 日市議会議員勉強会。給食関連の説明会の報告及び放課後児童クラブの運営事業につ

いての説明を行った。同日地方創生総合戦略有識者会議。

- ・ 22 日小城市学力向上研究発表会が晴田小学校及び芦刈観瀾校にて開催された。晴田小学校は 2017 年から 2 年間外国語活動の研究発表を担って、この研究については小城市の中でも参考にすべき水準に上がっているところであり、県内からも多くの方が参加されていた。また、芦刈観瀾校については、特別支援教育や理科教育等の他、小中一貫教育のことについては、9 年間を見越した形で充実した研究会が行われていることに対してうれしく思っている。
- ・ 24 日牛津小学校のフリー参観。
- ・ 26 日小城映画製作委員会からの小城映画DVD贈呈式。贈呈されたDVDについてはふるさと学習に生かしていきたい。同日定例校長会、第 1 回小城市放課後児童クラブ運営業務業者選定委員会。
- ・ 本日定例教育委員会。今後の予定としては、令和元年第 4 回小城市議会定例会が 12 月 4 日から 12 日で予定されている他、12 月 4 日牛津公民館での砥川小学校、牛津中学校PTAの依頼のもと学校給食のセンター化につての保護者説明会を予定している。

6 議 事

第 1 議決事項

【会議録】

教育委員会の会議録について（公開）

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

承認

【議案第 21 号】

令和 2 年度小城市教育の基本方針について

〔説明〕

◇教育総務課長が説明

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 25 条第 2 項第 1 号の規定により承認を受ける必要がある。

今年度の 7 つの重点目標に対し、来年度は 6 つの重点目標を掲げ、「学校・家庭・地域が一体となって教育を推進します。」と三者が一体となって目標に取り組むよう明文化している。

〔意見・質問〕

○教育長

「学校・家庭・地域が一体となって」は目標全てにかかってくることから全体に位置付けている。

○B 委員

「家庭教育力の向上」のニュアンスについてはどうか。

○D 委員

家庭の中での様々な環境の影響で教育が成り立っていないケースが気になるため、「家庭の教育力向上」でどうか。

○教育長

「家庭の教育力向上」としたい。

○E 委員

重点目標の中の「家読（うちどく）の推進」とあるが、具体的にどのようなものか。

○文化課長

家読とは家庭での読書活動のことで、家庭での読書が読書の基本になるものとして重点目標の1つとして掲げている。

○F委員

家読の取り組みで、既に具体的な取り組み案はあるか。

○文化課長

佐賀うちどくネットワークが主体となるが、小城市で開催予定の佐賀うちどくフェスティバルの前段として、12月19日に第1回準備委員会を開催し、令和3年1月19日にフェスティバルの開催を予定している。

○B委員

アナログとデジタルは両方大切で、最近識者の本を読んだが、ソサエティ5.0時代でも実際に自分の目を通して読書をするのが大切だということも強く主張されている。ICTの事業もやっている一方で、小城市の小学校では年間多く本を読んでいる実態もあるので、それを伸ばすためにこの目標を据えているということで非常にいい取り組みだと思い、期待している。

○教育長

学校での取組の他にボランティアの方々の活動も熱心にされている。そういったところをしっかりと出していきながら、日常生活の中での時間の使い方や、読書を通じた人間関係形成など重要性を認識してもらうきっかけになればと思う。色々な方々に協力をしていただきながら広めていきたいと思っている。

〔結果〕

承認

【議案第22号】

小城市重要無形民俗文化財指定証書交付要綱を定める告示

〔説明〕

◇文化課長が説明

現行の小城市文化財保護条例には小城市重要無形民俗文化財の指定証書の交付に関する規定がないため、指定証書交付に関する要綱を定めたもの。

〔意見・質問〕

○B委員

本要綱を定める理由は。

○文化課長

国、県の条例を基に小城市文化財保護条例も作成しているが、重要無形民俗文化財に関する指定書等の規定は国、県にもなかったため改めて策定した。

〔結果〕

承認

第2 報告事項

【報告第32号】

教育委員会佐賀県連絡協議会規約の改正について

〔説明〕

◇教育総務課長が説明

市町教育長会連合会の組織改編に伴い、同連合会の構成員より教育委員が減となったことから、教育委員会佐賀県連絡協議会規約が改正されたため報告する。

〔意見・質問〕

○教育長

今年度から教育長会連合会と教育委員会連合会の組織の改編に伴って規約改正された。

〔結果〕

了承

7 その他

(1) 教育委員会の共催及び名義後援事業について

〔説明〕

◇教育総務課長が説明

- ①佐賀シティビジョン株式会社／第3回 ぶんぶんテレビ杯ミニバスケットボール大会
- ②小城市バレーボール協会／第15回 小城市バレーボール協会長旗大会
- ③小城ウインドアンサンブル／第27回 グリーンコンサート
- ④佐賀県子ども観光大使実行委員会／佐賀県子ども観光大使教室 2019
- ⑤小城市青少年育成市民会議／令和元年度「第15回小城市モデル子どもクラブ」発表会
- ⑥（一社）佐賀県サッカー協会／小学校体育サポート研修会
- ⑦佐賀新聞社／第60回 郡市対抗県内一周駅伝大会
- ⑧佐賀県へき地・小規模校教育振興会／第66回 九州地区へき地・小規模校教育研究大会佐賀大会

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

了承

(2) 令和元年度執務納め式・執務始め式について

〔説明〕

◇教育総務課長が説明

教育委員会部局の執務納め式を12月27日17時から、翌令和2年の執務始め式を11時から開催する。教育委員の皆様のご参加をお願いしたい。

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

了承

(3) 令和元年度生活発表会等日程について

〔説明〕

◇保育幼稚園課長が説明

市内幼稚園、保育園、認定こども園等の生活発表会等の日程が決定したのでお知らせする。

気になる園等あればご参観いただきたい。ただし、室内の発表会で、近年祖父母の

参観も多く混雑しているので、ご注意願いたい。

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

了承

(4) 小城市内各園の卒園式・入園式について

◇保育幼稚園課長が説明

市内各園の卒園式、入園式の日程についてお知らせする。

公立幼稚園の卒園式は3月17日、公立保育園の卒園式は3月21日に計画しており、委員の皆様の出席については2月の定例教育委員会にて調整させていただきたい。

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

了承

(5) 相原一郎基金活用事業について

◇学校教育担当部長が説明

相原一郎基金活用事業については今年度が事業最終年度となっており、将来の夢について、小城市小城町内の各小中学校より優秀賞を選び、受賞者を東京の研修に参加させるもの。

今回の研修は12月20日から22日の2泊3日で、主にデジタルハリウッド大学、国立科学博物館、国会議事堂、オリンピックスタジアムなどを見学する予定となっている。

東京研修後は、各学校で報告会などを行うこととしており、参加する子どもたちにとって充実した研修になることを願っている。

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

了承

(6) 令和元年度第3回土曜授業について

◇学校教育担当部長が説明

今年度の土曜授業は4回計画をしており、その第3回目を12月7日に実施する予定。

各学校一覧のとおり開催し、もちつき会、マラソン大会、人権集会、教育講演会など通常の授業とは異なった行事を計画している学校もある。教育委員の皆様も気になる学校があればご参観願いたい。

〔意見・質問〕

○B委員

私も土曜授業を推奨した立場でもあるが、学校の先生たちの働き方改善や、子どもたちのとも考えてのことであるが、実際の現場の声などの検証はどうか。

○学校教育担当部長

土曜授業の開始時点では子どもと向き合う時間を確保するということでスタートしたと思う。土曜授業については校長、教職員とで多忙化対策検討委員会の中で議

論してきた。次年度についても既に校長会にて話をしているところであり、特に1学期が非常に厳しいという意見が上がっていた関係で、1学期をはずした年間3回程度行うよう考えている。

土曜授業については通常授業とは違うものを入れるなど、そういった時間を生み出すことで、子どもに向き合う時間を確保するということで、意味ある行事であると教育委員会、校長会共に判断しているが、多忙化対策も含め、来年度は1回少ない形での実施で進めている。

○教育長

来年度以降の教育課程上のことや、東京オリンピック関連で中体連の日程も変わってくる関係で、7月の土曜授業の実施がむずかしいだろうということで、7月に開催せず、9月、12月及び2月の3回で予定している。

○B委員

学習指導要領の授業時間数は今非常に複雑多岐な領域が出てきて、内容が増えている状況の中、平日の教職員の授業は相当タイトな状況と思う。

週休2日制が土曜日に塾やクラブに行けるか、家で一日中ゲームして過ごすかなど、教育の機会均等という話の中、土曜日の授業については形を変えて復活するという話を出すべきなのか、各家庭の責任となれば自治体で何をやるかということを考えながら土曜授業を見てきた。

○教育長

B委員の指摘のとおり、授業時数は2020年から小学校は明らかにふえる。その分の授業時数の確保もあり、各学校工夫しながら子どもに向き合う時間を少しでもふやそうということで進めてきている。

土曜の扱いについては、小城市は特に青少年健全育成会等の社会教育の中で動いていただいている分もあるので、学校教育の土曜授業の増加が現実的にどう影響するかという点もあるが、今後長期休暇の短縮をせざるを得ない可能性が出てくる。そうならないように各学校で工夫をされているところであるが、今後も各市町の様子を見ながら情報共有して進めていかなければならない。

市町によっては2学期制を取るなどの対応もされているが、小城市としては3学期制をとり、休業もとりながら、進めていかなければならないと思っている。

○B委員

国も変形労働時間制の導入等を打ち出しているようであるが、複雑化の側面もある。教職員がゆとりを持ちきれない状況で仕事をしているということをどう改善していくか。教職の責任感や、部活動でも結果を出さなければならないなどどうしても無理をしてしまう。以前は部活動担任の考えで「土曜、日曜は休みます。」などが言えて、部活動をやられていたところもあるので、教職員も割り切っていかなければ大変と思う。

○E委員

教職員の負担は増加しているとの事であるが、内容を見ると、カレー会やもちつき等、子どもたちから見れば楽しい内容も含まれている。教職員の負担も大変と思うが、そういった部分もある。

○教育長

教育課程上の土曜日については、年間計画の中で、行事が入ることも当然出てくる。ことし4回土曜授業をする中で、授業時数として12時間プラスとなる。年間を通して各学校で通常授業も選択肢に含めて独自に決めている状況。今年度は第4回目が2月に予定されているが、3回目の土曜授業についてはこのような形で進め

させていただく。

〔結果〕

了承

(7) 小城市成人式式典対応者について

◇生涯学習課長が説明

来年1月12日に開催予定の成人式について、教育委員の皆様には出席をお願いしたい。会では開式の言葉や記念品の贈呈、祝辞をお願いしたい。

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

了承

(8) 図書館システム改修に伴う市民図書館の休館について

◇文化課長が説明

現在図書館システムの入れかえを行っているところであり、1月14日から1月31日まで小城市民図書館が休館となる。

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

了承

8 次回定例教育委員会開催日程及び場所

◇定例会

【日 時】 12月26日(木) 午前9時30分～

【場 所】 小城市役所 西館2階 2-6会議室

9 議 事【非公開】

第1 議決事項

【会議録】

教育委員会の会議録について(非公開)

【議案第23号】

令和元年第4回小城市議会定例会における教育委員会所管議案について [承認]

第2 報告事項

【報告第33号】

小城市立三里保育園の民間移管に関する運営事業者の選考結果について [了承]

【報告第34号】

就学援助の認定について [了承]

【報告第35号】

教育委員会事務局職員の休職について [了承]